

「静岡研修」

2月26日（火）27日（水）実施 第二支部終了報告

静岡研修が2月27日に開催されました。今回は、クルーズ船も多い清水港からアクセスできる観光スポットを、現地ガイドの案内で回りました。

前日26日には、有志20名で自主研修として13:30から16:30まで、静岡浅間神社、駿府城公園を訪れました。まず、家康公にゆかりのある浅間神社では、本殿の参拝をし、7つの社をみてまわりました。駿府城では、現在発掘中の豊臣と徳川それぞれ



の天守台をみた後、駿河の国を模した美しい紅葉山庭園を見学しました。夜は名物静岡おでんや海の幸、富士宮やきそばなど土地の美味しいもので英気を養い、全国から集まった参加者の交流を深めることができました。

2日目は8:45から17:00までの1日研修。重要ポイントを貸切バスで効率よく移動し、現地では自分たちの足を使って静岡のすばらしさを堪能しました。午前中は、みかんの木々が茂るさった峠を歩き、目の前に姿を見せてくれた富士山に感動。由比本陣公園、広重美術館では東海道でははずせない浮世絵について学びました。その後、シラスや近年漁獲高が激減しているサクラエビを使ったおいしい昼食をいただきました。



午後は、世界遺産となっている三保の松原、国宝久能山東照宮を研修。参加者39名のうち、健脚の15名は、ロープウェイではなく1159段の石段を上りました。この辺りは名物の石垣イチゴの温室が海沿いに建ち並び、イチゴ狩りも楽しめます。ここからは、ロープウェイで日本平へ移動し、この日最後の富士山ビュースポットも確認しました。

1日で、富士山、神社、東海道、浮世絵と日本の魅力を堪能でき、大変充実した静岡研修となりました。参加者のみなさんは、少ない人でも17000歩以上は歩かれたようですが、富士山と家康公のダブルパワーで乗り切ることができました！

